2014年3月期決算説明

2014年5月27日

山一電機株式会社

（証券コード 6941）

ご説明内容

【1】FY2013業績について

【2】FY2014業績見通しについて

FY2013ハイライト

事業構造改革（構造改革・収益力強化・成長戦略）の諸施策を実行 3

下記の諸施策を遂行し、3期ぶり黒字化と6期ぶり復配（5円配当予定）

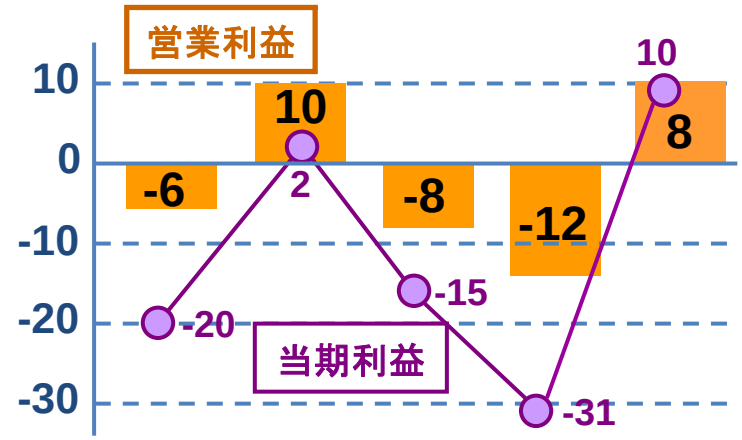
EMS事業の終結	PMI（ﾌｨﾘﾋﾟﾝ）のEMS事業売却、マティ（国内）の清算結了
固定費の圧縮	人員適正化（975名減）、本社移転、経費削減など実施 固定費の削減額 8.7億円 但し、円安により海外子会社の固定費が9.5億円増加し、前年比 0.8億円増加
海外機能アップ	グローバル連携強化により米国・韓国現法の業績が大幅伸長 フィリピン工場を新規に取得し、プレス工場を増設 中国工場のコネクタ生産体制整備
不採算製品の改善	コネクタ製品の限界利益率2.8ﾎﾟｲﾝﾄ改善、損益分岐点26%低下
ロスコストの低減	FY2012比18.6%低減

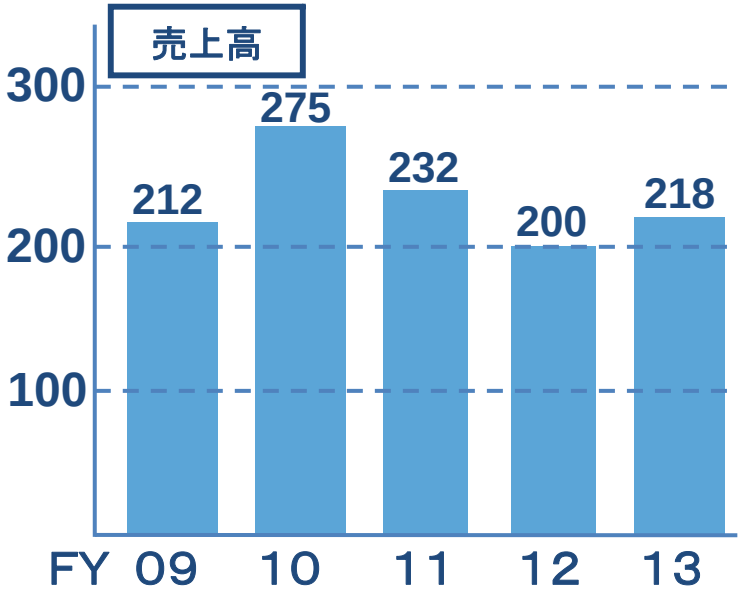
※成長戦略については、次項【2】FY2014 業績見通し　の事業別計画の中で説明いたします。

FY2013業績結果について

構造改革による効果と収益力強化により営業利益が大幅増益

（単位：億円）





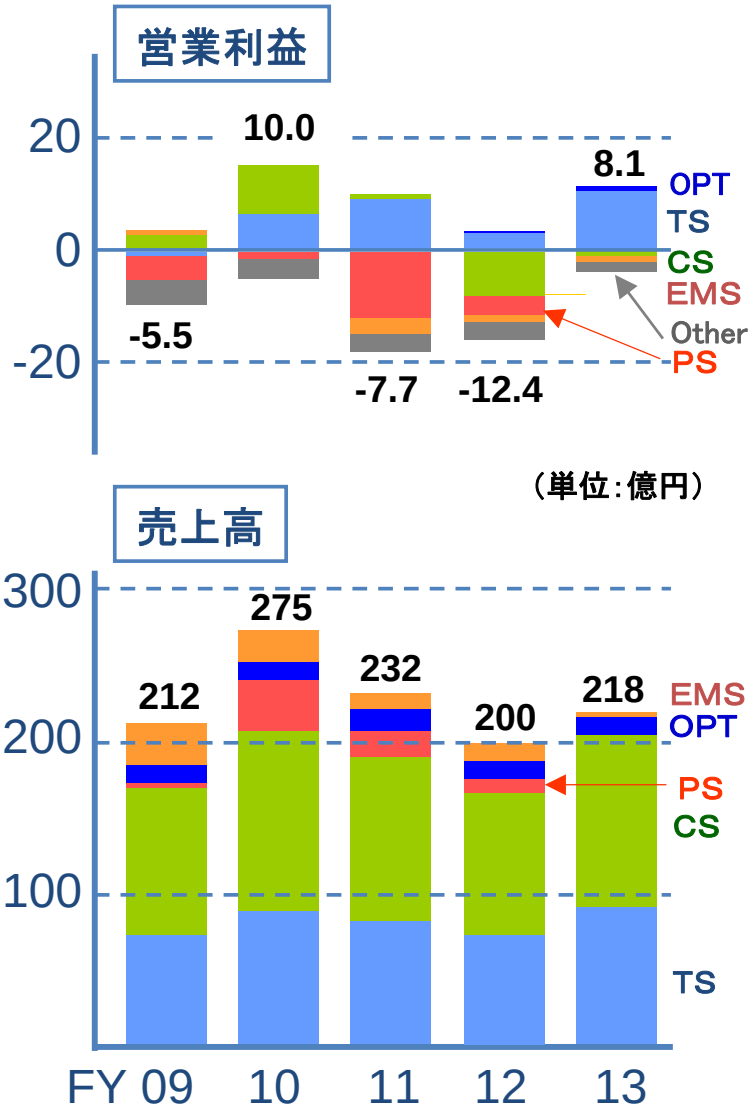
	FY12	前回予想	FY13	FY12比	前回予想比
売上高	**200**	**215**	**218**	9.1%	1.3%
売上原価	159		154	-2.8%	
売上総利益	**41**		**64**	55.0%	
販売管理費	54		56	3.9%	
営業利益	**- 12.4**	**6.7**	**8.1**	黒転	20.4%
営業外損益	4.3		※1 4.8	12.0%	
経常利益	**- 8.1**	**10.5**	**12.9**	黒転	23.1%
特別損益	- 22.2		※2 - 1.2	-94.3%	
法人税等	- 1.1		-2.0	79.1%	
当期純利益	**- 31.4**	**8.2**	**9.7**	黒転	18.3%

※1　営業外損益：為替差益5.4億円

※2　特別損益：特別退職金0.8億円、固定資産減損0.6億円

FY2013事業別業績結果について

TS増収増益、CS損益改善、PS・EMS撤退



海外売上比率　FY2012　61%　⇒　FY2013　70%

	売上高			営業利益		
	FY12	FY13	前年比	FY12	FY13	前年比
TS	72	90	24.5%	2.4	10.3	330.8%
CS	94	114	20.8%	-7.8	-0.6	赤縮
PS	9	—	撤退	-3.5	—	撤退
OPT	12	12	-0.7%	0.3	0.4	48.3%
EMS	12	2	-83.3%	-0.8	-0.8	撤退
Other				-3.1	注1 -1.3	赤縮
Total	200	218	9.1%	-12.4	8.1	黒転

注1：R&D 0.4億円（1QでR&Dセンター廃止）、棚卸未実現利益0.7億円など

FY2013決算のポイント

	ハイライト	ローライト
TS事業 （ﾃｽﾄｿﾘｭｰｼｮﾝ）	ﾊﾞｰﾝｲﾝｿｹｯﾄの販売が底堅く推移 ﾃｽﾄｿｹｯﾄの拡販で事業基盤拡充	
CS事業 （ｺﾈｸﾀｿﾘｭｰｼｮﾝ）	通信・車載・産機向け伸長 ﾌﾟﾘﾝﾀｰ向けｶｰﾄﾞｺﾈｸﾀが堅調に推移 ﾌﾟﾛﾀﾞｸﾄﾐｯｸｽで損益改善進む	ｱﾐｭｰｽﾞﾒﾝﾄ市場低迷でYFLEX落込む
OPT事業 （光関連）	光通信向けﾎﾟﾘｲﾐﾄﾞﾌｨﾙﾀが伸長	DSC・DVCの需要減でIRｶｯﾄﾌｨﾙﾀ低迷
EMS事業	マティ（岡山）6月事業終息、11月清算結了 PMI（ﾌｨﾘﾋﾟﾝ）工場も含め6月事業譲渡	

FY2013の貸借対照表

現預金49億円、自己資本比率57.1% 財務体質改善

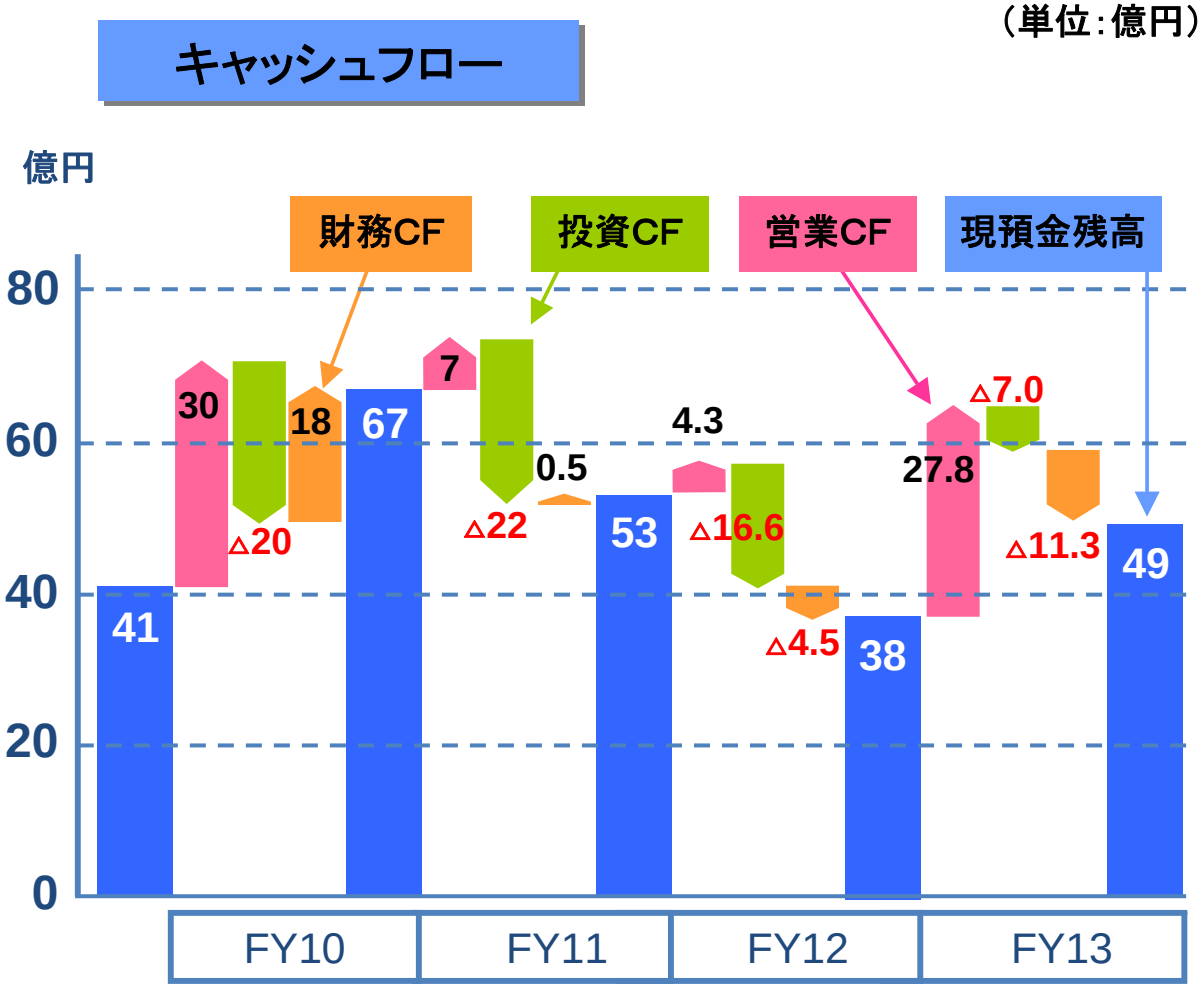
単位：億円

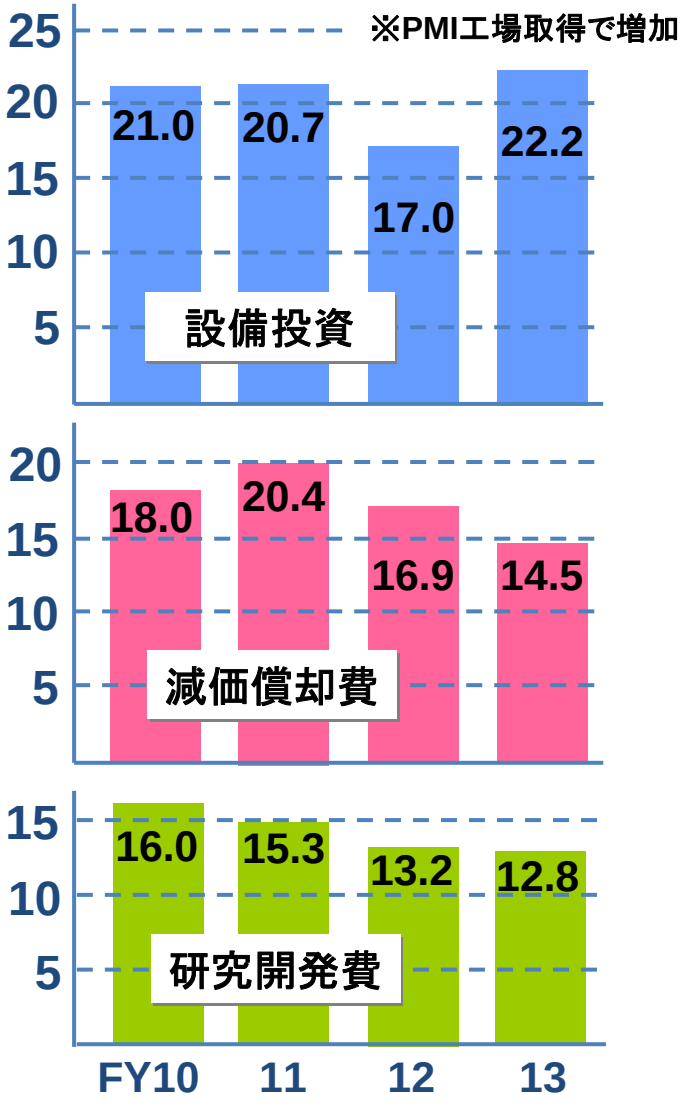
	2013.3末	2014.3末	前期比増減	
流動資産	113	123	10	
現金及び預金	38	49	11	← 増収増益やEMS事業譲渡等
受取手形・売掛金	39	39		
棚卸資産・その他資産	35	34	△1	
固定資産	116	113		
有形固定資産	92	91	△1	← PMI工場とEMS設備の譲渡
無形固定資産	1	1		
投資・その他資産	22	21	△1	← 本社移転で敷金減少
資産合計	228	236	8	
流動負債	88	86	△2	
支払手形・買掛金	13	15	2	
短期借入金	55	49	△6	← 短期借入金の返済
その他負債	20	22	2	
固定負債	17	15	△2	← 長期借入金の返済
負債合計	106	101	△5	
純資産合計	123	135	12	← 当期純利益　9.7億円計上
負債・純資産合計	228	236	8	

FY2013 ＣＦ・設備投資・減価償却費・研究開発費

フリーキャッシュフロー21億円

（単位：億円）



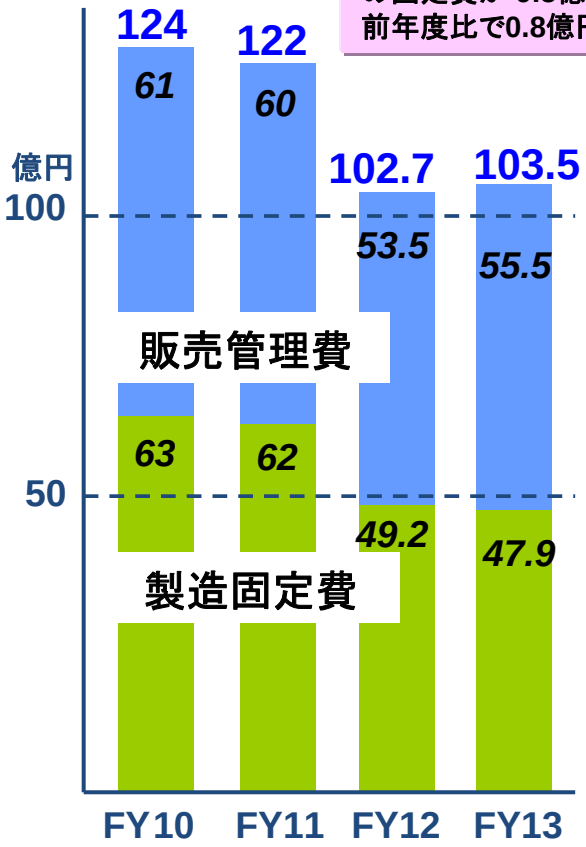


ＦＹ2013のコスト構造

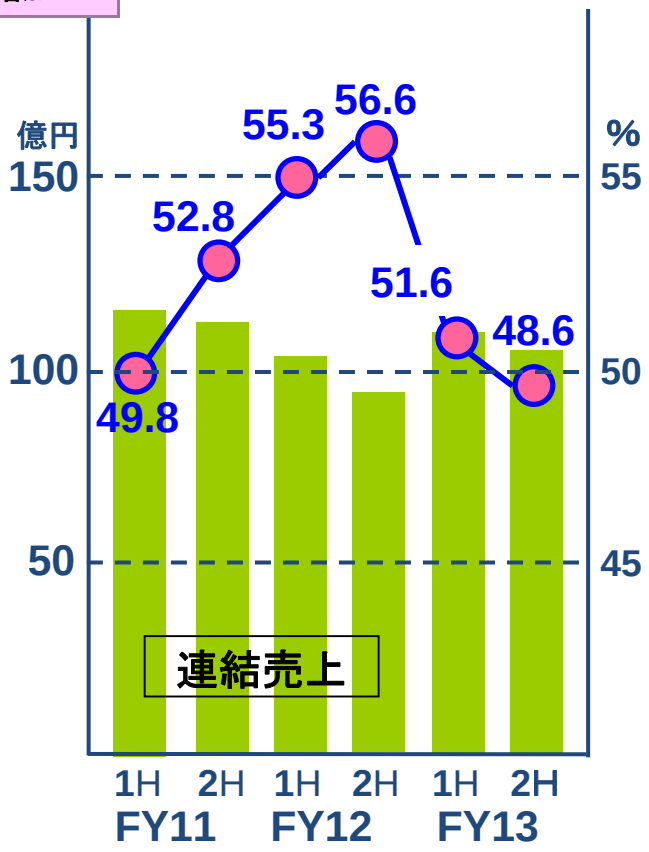
円安により海外子会社の固定費増加

固定費

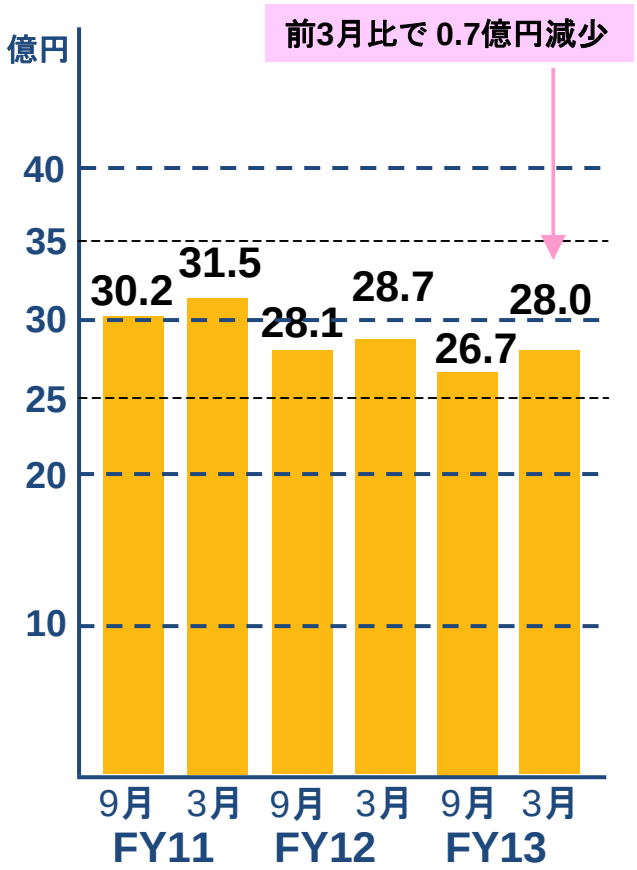
FY2013の削減額 8.7億円であったが、円安で海外子会社の固定費が 9.5億円が増加し前年度比で0.8億円の増加



売上高変動費率



在庫額



ご説明内容

【1】FY2013業績について

【2】FY2014業績見通しについて

経営方針

「お客様が満足する製品・サービスを提供できる会社」を目指す！

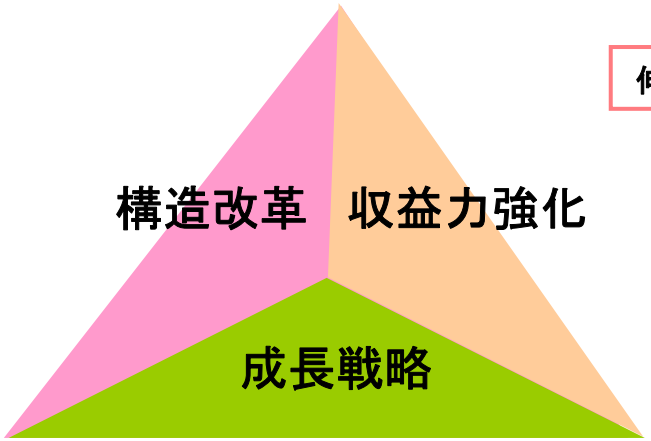
魅力ある製品づくり　　財務体質の強化

事業構造改革を全社一丸となり取組み完遂する　　利益を確実に出す会社に変革－全事業プラス化

QCDS全てでお客様に応えられる会社になる　　真のグローバル企業へ

事　業　構　造　改　革

- EMS事業の終結（完了）
- 山一電機ｸﾞﾙｰﾌﾟの連携強化
- コスト競争力の強化
- 販管費の圧縮（対売上比率）
- シンプルな事業運営



- グローバルニッチ
  - 伸びる市場・地域
  - 元気な会社
  - 儲かる製品
- 海外の機能強化
- グローバル連携の強化
- ロスコストの低減
- 不採算製品の改善

ＦＹ2014業績予想

FY2014は 持続的成長と収益力向上の基盤づくりの年

単位：億円

	FY2013		FY2014（予想）				
	上期	通期	上期	前期比	下期	通期	前期比
連結売上	111.1	217.8	114.0	2.6%	117.0	231.0	6.1%
営業利益	4.3	8.1	4.6	7.9%	5.4	10.0	23.9%
営業利益率	3.9%	3.7%	4.0%		4.6%	4.3%	
経常利益	6.4	※ 12.9	4.2	▲34.5%	4.8	9.0	▲30.4%
当期利益	5.2	9.7	3.5	▲32.1%	4.0	7.5	▲22.7%
EPS	22.15円	41.65円	15.03円		17.18円	32.21円	2.6%

※FY2013　為替差益5.4億円

ご参考：為替レート　1＄＝102.92円　1€＝141.65円

◆ FY2014の計画　設備投資・・・20億円　減価償却費・・・16億円　研究開発費・・・13億円

◆ 配当予想は未定としましたが、業績見通しがより明らかになった段階で随時公表いたします。

ＦＹ2014事業別業績見通しについて

地域・市場・顧客・製品別戦略の連携を強化し、収益力向上

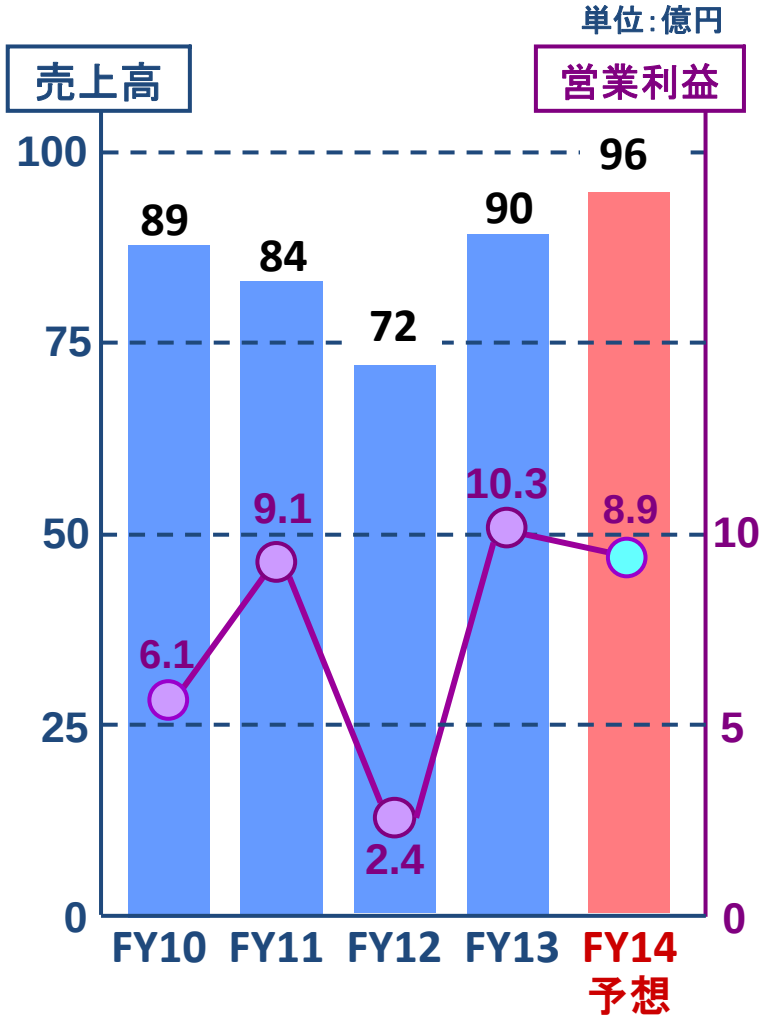
単位：億円

	売上高						営業利益					
	FY2013			FY2014（予想）			FY2013			FY2014（予想）		
	1H	2H	通期	1H	2H	通期	1H	2H	通期	1H	2H	通期
TS	48	42	90	48	48	96	7.3	3.0	10.3	4.6	4.3	8.9
CS	55	59	114	60	62	122	- 1.3	0.7	- 0.6	0.2	0.6	0.8
OPT	6	6	12	6	7	13	0.2	0.2	0.4	-0.3	0.5	0.3
EMS	2	—	2	—	—	—	- 0.8	0	- 0.8	—	—	—
Other	—	—	—	—	—	—	- 1.1	- 0.2	注1 - 1.3	—	—	—
Total	111	107	218	114	117	231	4.3	3.8	8.1	4.6	5.4	10.0

注1：R&D 0.4億円（1QでR&Dセンター廃止）、棚卸未実現利益0.7億円など

テストソリューション事業

テストソケット製品の拡販で事業基盤を拡充



バーンインソケットのシェア拡大

- 市場を牽引する開発力の強化
- 地域・市場戦略、顧客戦略による売上拡大
- グローバル体制の強化

テストソケット事業の拡充

- 開発・販売体制の強化による売上拡大
- 生産ラインの強化

グローバル体制の強化

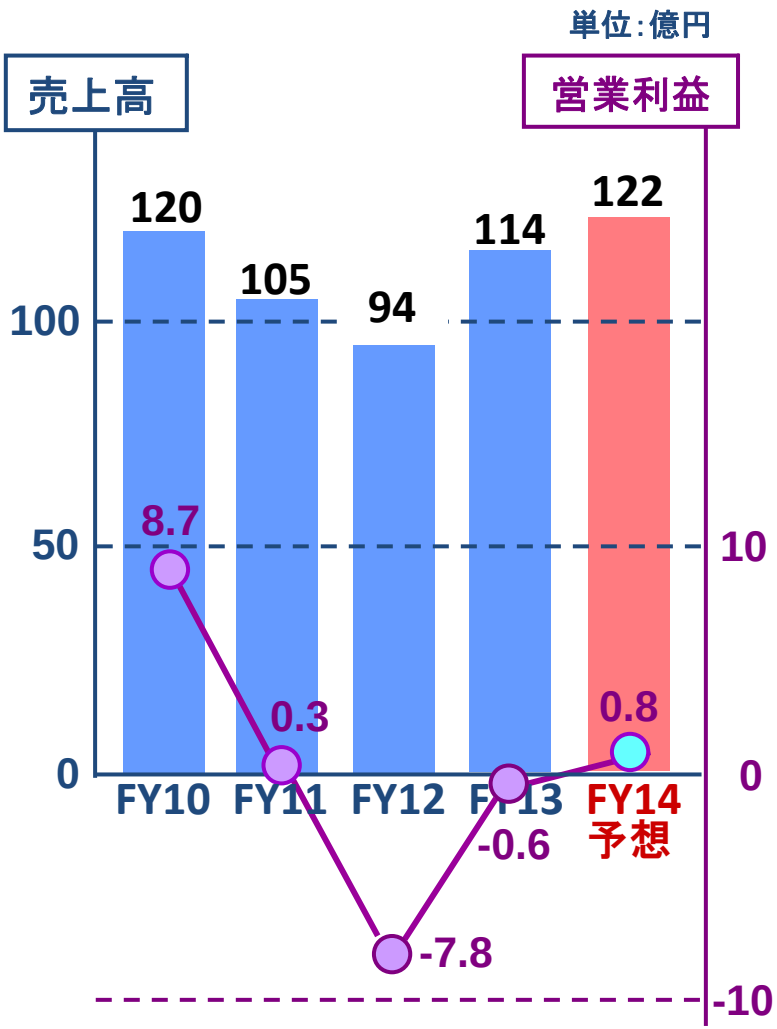
- 連携の強化―地域・市場・顧客・製品別
- グローバル技術者の活用と育成

バーンイン ソケット | テスト ソケット | プローブピン



コネクタソリューション事業

通信・車載・産機市場へグローバルニッチに開発・販売戦略を強化



３市場をターゲットにコネクタ製品の事業強化

- 通信インフラ向けCFP2、CFP4ビジネスの拡販
- 車載用情報機器向けBECｺﾈｸﾀ、車載用ｶｰﾄﾞｺﾈｸﾀ、車載用YFLEX製品の開発強化
- 欧州産業機器向け防塵防水ｺﾈｸﾀの拡大
- 欧州市場に新製品を投入

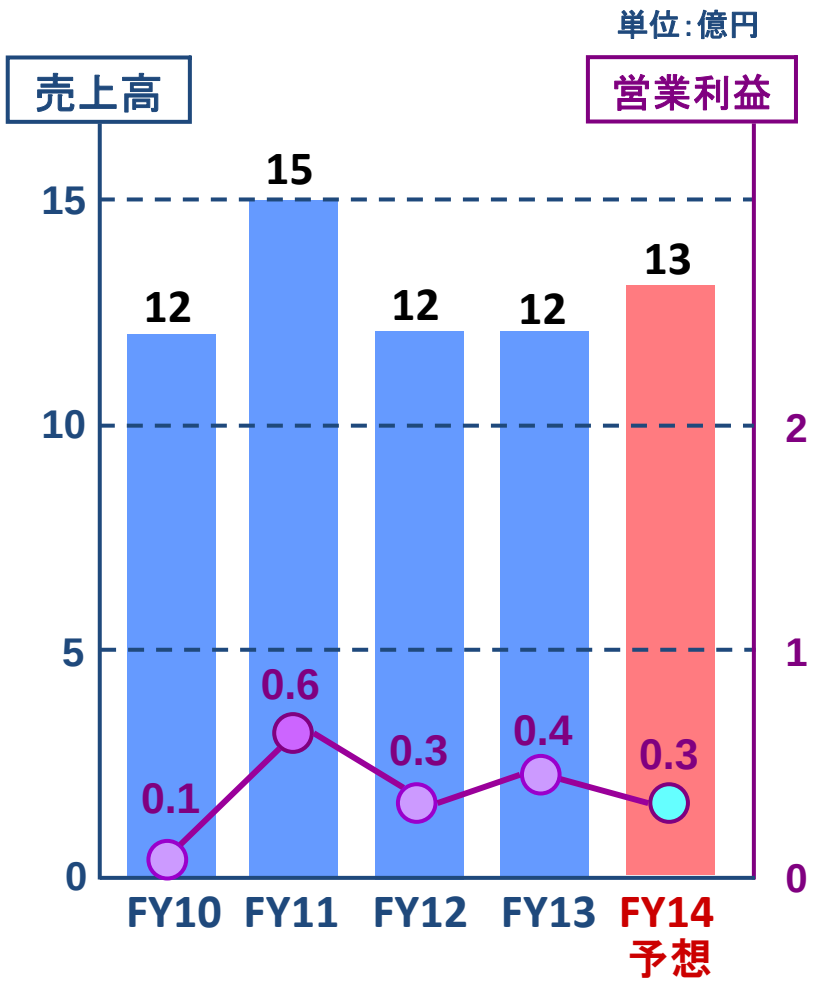
YFLEX製品の事業強化

- YFLEX多層基板製品の開発・生産・販売体制の強化
- コネクタ製品との連携強化
- 新製品の販売強化



光関連事業（光伸光学工業）

民生・医療・通信市場向けに技術的優位性の高い製品を開発・拡販



民生・モバイル市場

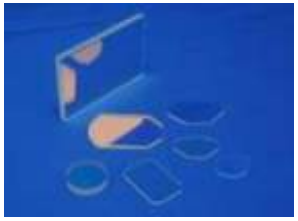
- ◆ 新製品IRカットフィルタ（NexT35）の拡販
- ◆ プロジェクタ、監視カメラ用NDフィルタの拡販

光通信市場

- ◆ ポリイミドフィルタとIBS成膜加工の複合技術を活かしたポリイミドWDMバンドパスフィルタの拡販
- ◆ 光トランシーバー用フィルタ製品の開発・拡販
- ◆ 波長可変量子ドット光源の拡販

医療市場

- ◆ レーザー内視鏡用フィルタの拡販
- ◆ ヘルスケア用マルチBPFの拡販



レーザー内視鏡用フィルタ



IRカットフィルタ（NexT35）



波長可変量子ドットレーザ光源

ご清聴ありがとうございました。

※注意事項

本資料は、2014年5月16日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものでありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

問合せ先：経営管理部広報課　笹川康彦

TEL：03-3734-7661　FAX: 03-3734-0120

http://www.yamaichi.co.jp

E-mail: sasagawa@yamaichi.co.jp